

## スローライフへの憧れ

～日本で最も美しいまち「美瑛」を訪ねて～

学長室から

竹屋 元裕



ケンとメリーの木の前に立つ谷原ご夫妻と筆者（左）

「大切なのは、自分のしたいことを自分で知ってるってことだよ」— これは『ムーミン』（トーベ・ヤンソン作）に登場するムーミン村のスナフキンが発した名言ですが、熊本大学の谷原秀信名誉教授（眼科）の好きな言葉でもあります。先月中旬に、医学部で共に過ごし本学の評議員も務められた谷原先生を美瑛に訪ねました。谷原先生の美瑛への憧れは並大抵ではなく、現役時代に数千坪の土地を購入されて家を建て、年に数回は出かけておられました。昨年3月のご退職を機に美瑛に移り住み、美瑛町民としてスローライフを楽しんでおられます。

美瑛町は北海道の中央部に位置し、東京23区に匹敵する広大な面積を有し、「丘のまち」としても知られています。春や夏には様々な花々が咲き誇り、丘の畑で栽培される色とりどりの作物と相まって、見事なパッチワーク模様が広がります。そして「丘のまち」の点景になっているのが、丘のあちこちに一本立ちあるいは集団で点在する木々です。「ケンとメリーの木」「セブンスターの木」「マイルドセブンの木」など有名な木々が谷原邸の周囲数キロメートル以内に集中しており、短時間で一気に案内して頂きました。花の季節は過ぎていましたが、冠雪した十勝岳連峰を遠景に落葉松の紅葉が鮮やかで、「丘のまちびえい」を満喫しました。

谷原ご夫妻は美瑛を「終の住処」と定めておられますが、人生の最終局面を前にして、どのようなセカンドライフが相応しいのか、深く考えさせられる旅でもありました。



色鮮やかな初夏の美瑛（谷原先生提供）



林間に建つ谷原邸

熊本県内の企業、研究機関が製品や取り組みをアピールする展示商談会が11月17日（木）、医療機器大手ニプロの総合研究所（滋賀県）で開かれました。本学から参加した飯山準一教授（リハビリテーション学科理学療法学専攻）に、感想などを寄稿してもらいました。

## 温熱研究の成果 社会への還元めざして

リハビリテーション学科理学療法学専攻 飯山 準一教授

内部障害リハビリテーション研究室の飯山、岩下（佳弘准教授）の2名で11月17日に滋賀のニプロ研究所で開催された展示商談会に参加しました。これは、くまもと医工連携推進ネットワークが音頭を取り、ニプロの協力を得て開催されたものです。当日は、熊本の地場企業19社に熊本県臨床工学技士会と私達の研究室を加えた計21ブースが、ニプロ研究員を対象に展示、プレゼンをしました。

私達がアピールしたのは、これまでの温熱研究の成果を医療現場や社会へ還元する為に開発した「熱吸入デバイス」です。この10年来、国際特許取得とその維持に多大な支援をいただいた和水平町の金型会社、ネクサス株式会社への御恩に報いるべく製品化を目指しています。今回のような大企業へのアピールチャンスは逃さぬよう努力しているのですが、医療機器承認のハードルは高く、なかなかそう簡単にブレイクスルーとはいきません。しかし2021年には温熱受容体の発見に対してノーベル賞が与えられ、これから温熱への注目はさらに高まっていくと考えられるので、研究はもちろんのこと社会実装へ向けても、今後も諦めず活動していきたいと思えます。

### 製品化へ展示商談会でプレゼン

どの会社も昼食を取る間もなく立ち続け、三々五々訪れる約100名の研究員の皆さんに向け6時間のプレゼンをこなしていました。いずれもオリジナリティが有るからこそ規模は小さくとも企業として存在し続ける事ができる訳ですが、ただ待っていても仕事が常に降ってくる訳ではありません。従業員やその家族を養う為には、技術開発、受注先と業務の幅を広げていく不断的努力が必要なのです。そんな厳しい中小企業経営の一面を垣間見ることができ、大変貴重な体験となりました。それに比べればまだまだ甘い自分達を感じながらも、諦めず継続する気持ちを新たにしました。



6時間に及ぶプレゼンに臨んだ飯山教授（右）と岩下准教授

国体ソフトテニス  
熊本県チーム

### 中村さん（<sup>健康</sup>スポーツセンター） 成年女子監督に

健康・スポーツ教育研究センターの中村祐貴さん=写真=が、国体ソフトテニス成年女子熊本県チームの監督に就任することになりました。任期は2023年度から4年間です。

中村さんは、高校2、3年時に県選抜の一員として国体少年男子に出場、3年時には7位入賞を果たしました。大学、社会人でも県の強化指定選手としてプレーを続け、現在は本学に勤務する傍ら、母校の文徳高校で男子ソフトテニス部のコーチを務めるほか、ソフトテニススクールでも子どもたちを指導しています。

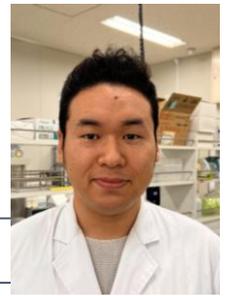
今回の監督就任について中村さんは、「自分自身も選手とともにチャレンジし、応援したいと思えるような魅力あるチームを作りたい」と抱負を語りました。また、健康・スポーツ教育研究センターの一員として「医科学的要素も加えた指導をし、私にしかできない型破りな指導を実践していきたい」と意気込んでいます。25日（日）には、中村さんにとって初陣となる国体一次予選が始まります。（安部悠介）



頑張ってます!

OB・OG訪問

本学理学療法学専攻8期生OB前田曙さん(26) =写真=は現在、熊本大学大学院医学教育部医学専攻腎臓内科学講座博士課程の3年生です。研究に明け暮れる前田さんから、後輩にメッセージを寄せてもらいました。



熊本大学大学院医学教育部博士課程3年

前田 曙さん (26)

## 熱の生体への影響を調査 悩んだ時こそ原点に返って

リハビリテーションには、熱を筋肉や関節の障害に対する治療法として用いる温熱療法があります。私は温熱療法を腎臓病の治療に役立てるため、熱が生体にどのような影響を与えるかを細胞レベルで調査しています。

私たちはお風呂やサウナなど熱を利用して身体を温めることが多くあります。しかし、加温による生体への影響は、全てが分かっているわけではありません。熱の生体への影響や作用を解明し、適切に温熱療法を用いることができれば、様々な病気の予防や症状の軽減に貢献できる可能性があります。

セラピストは臨床現場からだけでなく、研

究者としての立場からも様々な障害で苦しむ方々を支えることができる職種だと思います。セラピストが率先して研究活動に携わることは、「誰一人取り残さない」リハビリテーションの提供に繋がると考えています。

### ◆後輩へのメッセージ◆

研究を行っていくと壁にぶつかって悩むことが多々ありますが、一歩ずつ着実に進んでいくことで必ず道が見えてくると思います。悩んだときこそ、自身の原点に立ち返って一歩ずつ前へ前へ進んでいきましょう!



次の4年へ  
中期目標  
・計画説明会

第Ⅱ期中期目標・計画の説明会が11月29日(火)、1300講義室Lで実施されました。説明会は、昨今の大学を取り巻く環境の変化に対応するために教職員のベクトル統一を図ろうというもので、初めての試みです。

2019年度から2030年度までの長期計画内で4年おきに作成される中期目標・計画3期のうち、今回は2期目に当たります。説明会では、「経営・運営」部分を木下統晴理事長=写真=が、「教育」「研究」部分は竹屋元裕学長が説明しました。

第Ⅱ期中期目標・計画は、リーディング大学に向けた基盤づくりなどを柱に「経営・運営」、「教育」、「研究」の3部門で計16の目標を掲げています。すでにオンデマンド配信されておりますので、参加できなかった方はぜひご確認ください。

(経営企画室)

コロナ禍で中止されている海外留学プログラム(アメリカ)の代替となる、オンライン留学プログラム(ELSアメリカION+プログラム)奨学生の募集を16日(金)まで行っています。募集人数は保健科学部の1~3年次生40名。これまで本プログラムに参加した人、これから海外

### オンライン留学プログラム

## 参加学生を募集

留学プログラムに参加したい人も応募可能です。

プログラムは2023年3月6日(月)~3月31日(金)の4週間(1日4時間程度)。他国の留学生と自分のレベルに合ったクラスで受講することができます。費用は1380米ドル(日本円で約19万円)で、うち15万円を大学から奨学金として給付します。ただし、プログラムの修了証の提出をもって奨学金が振り込まれますのでご注意ください。

ベネッセコーポレーションによるプログラム説明会を12月7日(水)①12:00~13:00②16:30~17:30に実施します。昨年度の参加者による体験談を聞くこともできますので、興味のある方は奮ってご参加ください。(学術振興課)

## 水俣病写した記録「後世に」

## 報道写真家 桑原史成さん 8年ぶり写真集出版

(2022年11月5日付熊本日日新聞22面)

## 概要

水俣事件を60年以上にわたって撮り続ける報道写真家、桑原忠成さん(86)が写真集「いのちの物語 水俣」を出版。全8章から成り、胎児性・小児性患者の成長の様子や、事件にほんろうされる漁民の姿を追うなどしている。桑原さんは「写真は記録。後世に残せば、誰かが水俣事件を伝えてくれる」と信じている。

(リハビリテーション学科生活機能療法学専攻・中西けい)

## コメント

いま私たちが健康に過ごすことができている現代社会の裏側に、水俣病などの公害があったことを忘れてはいけません。しかし、時間がたってしまうほど事件は風化してしまい、水俣病について知らない人たちも増えてくるかもしれない。私たちにできることは、こういった写真や記録を残していき、同じ過ちを繰り返すことを防ぐことではないだろうか。(医学検査学科・戸高花暖)

## インフォメーション

## TKU特番、YouTubeで

11月26日(土)に放送されました本学の特別番組がTKUの公式YouTubeチャンネルに掲載されました。タイトルは「地域を支える次世代の医療プロフェッショナルに～熊本保健科学大学で描く未来～」で、今年実施された本学の取り組みや、OB・OGへのインタビューなどで構成されています。ぜひご覧ください。(入試・広報課)

【YouTubeチャンネルURL】  
<https://www.youtube.com/watch?v=xTX3PR6nV3Q>

クリスマスイルミネーション  
5日に3年ぶり点灯式

クリスマスイルミネーション点灯式が5日(月)18時から、キャンパススクエアで行われます。学友会による点灯式は3年ぶりです。イルミネーションはキャンパススクエア、レストラン前通路から3号館への渡り廊下周辺、2号館下、アリーナ前付近などで点灯されます。点灯に合わせ、学友会会員がトーンチャイムによる「赤鼻のトナカイ」を演奏します。イルミネーションは5日(月)～25日(日)18～21時に点灯されます。

(安部悠介)

## 週間行事予定(12月3日～12月9日)

12 / 3 (土)	助産別科 一般入試
12 / 4 (日)	チャレンジ熊保大! 一般選抜対策講座
12 / 6 (火)	大学訪問(御船高校) 健康診断